

平成16年10月29日

各 位

株式会社 UFJホールディングス
コード番号 8307

株式会社泉州銀行の平成17年3月期中間期業績予想の修正について

当社子会社の株式会社UFJ銀行の子会社である株式会社泉州銀行の平成17年3月期中間決算の業績予想修正に関して、別添資料の通りお知らせいたします。

以 上

平成 16 年 10 月 28 日

各 位

上場会社名 株式会社 泉州銀行
代表者名 取締役頭取 吉田 憲正
(コード番号 8372 大証第1部)
本社所在地 岸和田市宮本町 26 番 15 号
問合せ先 経営企画部長 竹村 哲也
(TEL. 0724-23-7441)

平成 17 年 3 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 5 月 21 日の決算発表時に公表しました平成 17 年 3 月期中間期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期中間期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)の業績予想の修正

【単体】 (単位：百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	20,000	3,200	3,200
今回修正予想(B)	20,300	4,300	5,400
増減額(B-A)	300	1,100	2,200
増減率(%)	1.5%	34.3%	68.7%

【連結】 (単位：百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	22,000	3,200	3,200
今回修正予想(B)	22,600	4,800	5,600
増減額(B-A)	600	1,600	2,400
増減率(%)	2.7%	50.0%	75.0%

2. 業績予想の修正理由

単体業績予想の修正

経常利益及び中間純利益は、業務純益が堅調に推移していることに加え、不良債権処理が当初予想よりも減少したことを主因として、前回発表予想を上回る見込みであります。

また、貸倒引当金繰入額の合計がネットで取崩超過となるため、特別利益に貸倒引当金取崩額を計上しております。

連結業績予想の修正

主に単体業績予想の修正と同様の要因によるものであります。

なお、経常利益・中間純利益につきましては、単体・連結とも中間期としては過去最高益となる見込みであります。

平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の単体・連結業績予想
中間決算発表時に公表いたします。

【参考】

平成 17 年 3 月期中間期の決算（単体）の見込

（単位：億円）

	当中間期	前中間期	増減
業務粗利益	162	159	3
うち債券関係損益 （5勘定戻）	1	2	3
経費	102	99	3
業務純益	60	59	1
正味業務純益	61	57	4
営業性正味業務純益	49	47	2
一般貸倒引当金繰入（ ）	-	-	-
臨時損益	17	43	26
うち不良債権処理額（ ）	18	38	20
うち株式関係損益 （3勘定戻）	3	4	7
経常利益	43	16	27
特別損益	11	12	1
うち貸倒引当金取崩益	7	10	3
中間純利益	54	28	26
ネット不良債権処理額 + -	11	28	17

経営指標（単体）の見込

（単位：億円、％）

	16年9月末	16年3月末	増減
自己資本比率	8.60	8.39	0.21
その他有価証券含み損益	43	30	13
リスク管理債権	541	665	124
リスク管理債権比率	4.27	5.36	1.09
預金残高	14,348	14,007	341
うち個人預金	11,741	11,314	427
貸出金残高	12,666	12,391	275
うち住宅ローン	6,406	5,825	581

以 上